

アウトリーチ報告書

東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 修士1年 小松満仁

1. 呉三津田高校を訪ねて

2006年2月22日、私は母校である広島県立呉三津田高校において現在の研究活動などを紹介する講演を行いました。呉三津田高校では毎年2月に卒業生を招いた懇親会を開催しており、そこでは卒業生の卒業後の進路や大学での生活、高校時代を振り返って思うことなどをたくさんの現役の高校生達の前で話し、彼らの進路指導の一環としています。私も今回母校を訪問し自分の研究内容やUNISECの活動報告を行うにあたり、この機会を利用させていただきました。



図-1 呉三津田高校の校庭風景

2. 1年生、2年生それぞれに向けた講演

懇親会は午後の授業時間を使って行われました。まずは50人ほどの高校一年生の理系志望者向けに、大学ってどんなところなのか、高校一年生のとき自分は何を考え、何を目指し、またどう過ごしてきたかということをお話しさせていただきました。偶然にも宇宙に関わりのある進路について卒業生とも交流を深めることができ、UNISECのことを知ってもらい良い機会になりました。思わぬ収穫があるものですね。

次の時間ではもうすぐ受験生となる高校二年生を対象に、受験時代の勉強や過ごし方、部活動との両立、大学の教養学部時代の話をしていただきました。パワーポイントをプロジェクタで映しながらの談話でしたが、みなさん真剣な面持ちで聞いてくださいました。

母校訪問プロジェクト 2006

3. いよいよ自分の研究と、UNISEC の活動紹介へ

先の 2 時間の講演で緊張のためか些か疲れまして、15 分程の休憩をいただきました。その 15 分で、懐かしい母校を歩いて回りました。昔私が学んだ校舎はつい昨年、100 年近い役目を終えて取り壊されている最中でした。それはなんとも言えず切ないものでした。

しばらく歩き回った後でその後の講演—今回の主目的である、自分の研究内容と UNISEC の活動紹介—の会場に戻ってみると、90 名を越す生徒さんが聞きに来て下さっていました。立ち見の方もいらっしゃるほどでした。恩師の先生方も聞きに来てくださり、自然に「これは頑張らなくては」という気持ちが高まってきました。



図-2 講演を聴きに参加してくれた生徒さんたち



図-3 講演のようす

母校訪問プロジェクト 2006

この講演では、以下の内容を軸に話をさせていただきました。

- ・なぜ僕が宇宙工学を志したか、どのようにして中須賀研と出会ったか
- ・超小型人工衛星とその意義、XI-IV と XI-V 打ち上げ成功と日々の運用
- ・S310 ロケットによる軌道上網展開実験の成果
- ・UNISEC 各参加大学の様々なプロジェクト活動
- ・いま、高校生のみなさんに一番伝えたいこと

できる限り専門用語を使わずに、できるだけ言葉だけでなく画像・映像を交えた発表の構成を心掛けました。発表の内容そのものは、きっと聞く人を惹きつけられる。その価値があるものだ——そう信じていました。一番大切なのは、私がどれだけそれを魅力的かつわかりやすく伝えるかだと。

また、誰か他の人の言葉をそのままコピー&ペーストしたような話では、きっと聞く人の心を動かすことはできないだろうと思いました。私は私自身の言葉を、高校生のみなさんに伝えたかったのです。上に挙げた軸の最後の一つは、私が高校を卒業してから得た、私の現在の人生観そのものでした。「宇宙のことはよくわからない、けど最後のメッセージはすごく共感できたし、聞いてよかったと思う」と言ってくださる生徒さんも何名かいらっしゃいました。おこがましいようですが、その内容は呉三津田のみなさんと私だけの内緒にしたいと思います。

大切なのは技巧の多寡ではなく、誠意なんだなと改めて気づかされました。

4. アンケート結果

参加されたみなさんの中から 86 名分のアンケートを頂くことができました。

4-1. こんな人工衛星があったらいいな

非常に自由な発想でたくさん書いてくださいました。

- ・宇宙人探査機能付き！
- ・宇宙に文字を映し出す
- ・衛星を使ったゲームがあったらいいなあ
- ・宇宙で植物を育てる衛星
- ・宇宙から音楽を降らせたい♪

4-2. 講演を聞いて良かったと思うこと

宇宙をそれまでよりもずっと身近に感じる事ができたという人が多かったです。この意味では、今回の講演のミニマムサクセスは十分達成されたと言えそうです。

- ・宇宙が身近になった気がした
- ・こんな世界があるのを知れてよかった
- ・宇宙に対する考え方がこの一時間で変わりました

母校訪問プロジェクト 2006

4-3. わかりにくかったこと

専門用語がわかりにくかったという意見をいただきました。気をつけていたつもりだったのですが、やはり咄嗟に出してしまうことがあったようです。文型のみなさんもたくさん聞きにきてくださっていたことをもう少しちゃんと考慮すべきでした。

- ・静止衛星って何ですか？
- ・ドップラーシフト？

4-4. 自由なメッセージを書いてください

高校生のみなさんの進路指導の一環としてお招き頂いたはずが、以下のようなメッセージをたくさん頂いて、僕の方が元気づけられてしまいました。

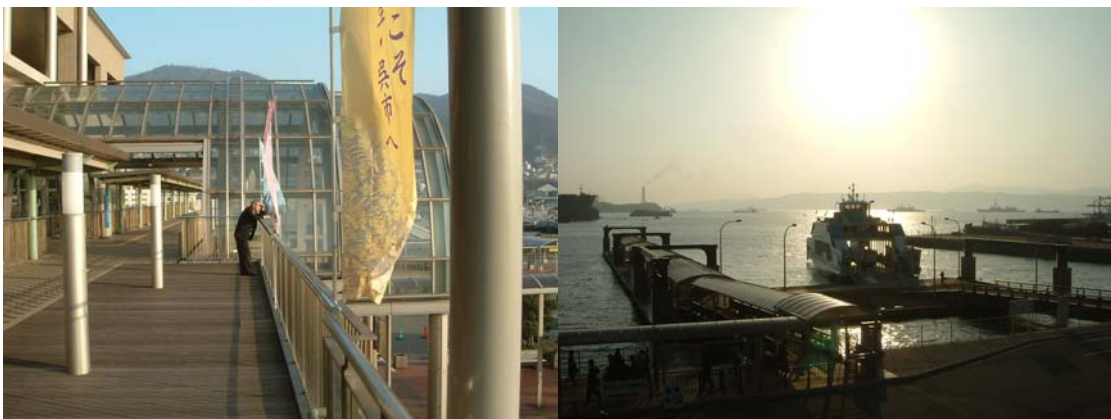
- ・自分たちの研究が成功した喜びを、自分もぜひ味わってみたいです
- ・今度は宇宙ステーション作っちゃってください！
- ・将来宇宙やるのもいいなあと思いました
- ・宇宙にかける想いに感動しました
- ・UNISECのみなさん頑張ってください！

5. 次の母校訪問を考えていらっしゃる皆様へ

母校訪問プロジェクトに参加して、私はまたスタートラインに立つことができたと思います。ともすれば日々の開発作業に追われ、自分の立っている場所を見失いそうなとき。母校訪問そして高校生のみなさんとの対話を通じて、自分のこれまでを振り返ることはとても意味があることだと思います。

6. おまけ

呉を発つ日の、夕暮れを写真におさめました。



(文責): 東京大学中須賀研究室
修士課程 小松満仁